

きのむれじょうあと  
木牟礼城跡

ちゅうせいやまじろあとたんけんかい  
中世山城跡探検会

ほうこくしょ  
報告書



木牟礼城跡

出水市教育委員会文化財課

平成29年7月

木牟礼城関係 年表 (『高尾野町郷土誌』等より)

	時代	西暦	郷土のできごと	主な出来事
中	鎌倉時代	1185 年	島津忠久が島津荘下司職に就く	鎌倉幕府成立
		1195 年頃	島津忠久の家臣本田貞親が木牟礼城を築く	
			鎮国山感応寺が創建される	
世	室町時代	1197 年	島津忠久、三州(薩摩、大隅、日向)の守護職に任ぜられる	
		1363 年	島津氏が総州家と奥州家に分かれる	
現	代	1422 年	島津久豊(奥州家)が木牟礼城の島津守久(総州家)を討ち、木牟礼城は廃城となる(総州家滅ぶ)	
		1985 年 (昭和 60 年)	『木牟礼城跡』が高尾野町文化財に指定される	
		2006 年 (平成 18 年)	市町合併により、出水市指定史跡『木牟礼城跡』となる	

中世山城の用語

大手 (おおて) …山城全体の正面、表門。城の裏 (裏門) は搦手 (からめて) と呼ばれる。

水手 (みずのて) …飲料水など生活用水を供給できる場所

切岸 (きりぎし) …曲輪の周りの斜面を人工的に急にして登りにくくすること。曲輪以外にも作られている場合もある。

空堀 (からぼり) …尾根の鞍部や曲輪を掘り切って、尾根伝いや隣接する曲輪から敵の進入を防ぐために造られた水の無い堀。

土塁 (どるい) …曲輪の周囲に、空堀を掘った時の土などを利用して、線・帯状に盛って空堀や切岸とセットとなって曲輪を防御するもの。

虎口 (こぐち) …曲輪の出入り口。戦国時代になると敵の進入を防ぐため、枡形虎口や喰違虎口など様々な形が生み出された。

豎堀 (たてぼり) …山城において、山の斜面に上下方向に設けた堀。斜面を縦に仕切って、敵が横に移動することを阻止するもの。

曲輪 (くるわ) …城や砦の周囲にめぐらして築いた土石の囲い。

## 1 大会の目的

中世山城跡ちゅうせいやまじろあとは、遺構いこうが良好に残っていても、雑草や樹木などが繁茂はんもしているところが多いため、大事な遺構が隠れてしまい、人目に付きにくくなっていることが多いようです。最悪の場合、山城遺構の存在が忘れられてしまい、その結果、知らない間に工事などにより遺構が消えてしまうことが心配されます。

そこで出水市教育委員会では、このような市内の中世山城跡を舞台に、新たな遺構発見を目指しながら中世山城跡に実際に足を踏み入れることで、新しく発見された遺構や、目の前に姿を現した本物の遺構に感動することで、市内の中世山城跡についてさらによく知ってもらおうと、探検会を企画しました。

第4回目の探検会は、市指定史跡でもある、木牟礼城跡きのむれじょうです。

## 2 木牟礼城跡について

木牟礼城は、出水十一ヶ城跡の1つで、鎌倉時代から室町時代にかけて、島津氏が国の運営を行うための守護所でした。

貞久の時代には、南朝と北朝の争いが木牟礼城と尾崎城を舞台に行われました。

木牟礼城が立地する場所は、中世の頃、高台で見晴らしがよく、周囲は天然の沼地（現在の田園）に守られ、城を作るのに適していたと考えられます。

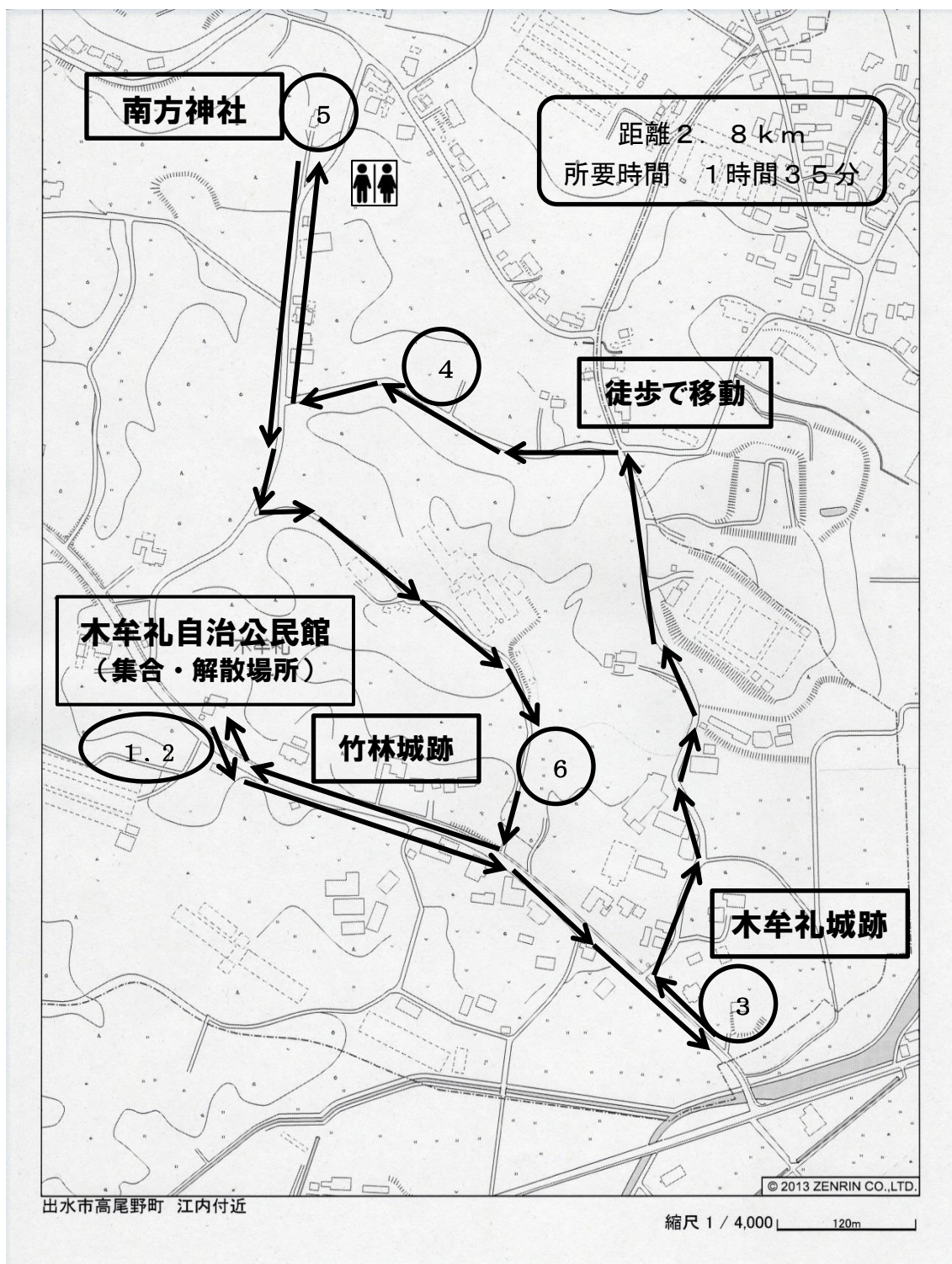
## 3 探検会の概要

- (1) 名 称 平成29年度中世山城跡探検会「木牟礼城跡」
- (2) 日 時 平成29年5月14日（日）午前9時30分～正午
- (3) 参加者 36人
- (4) コース [集合・開会式場]木牟礼自治公民館

～木牟礼城跡～南方神社～田の神様

[閉会式場・解散]木牟礼自治公民館

# 木牟礼城跡探検会 会場図



※○囲み数字の位置は、次ページ 4 活動の紹介 の場所です。



## 4 活動の紹介

### ①開会式



開会式は高尾野町江内の木牟礼自治公民館で開催。市内外から36人の参加がありました。

### ②スタート地点（木牟礼自治公民館）



探検のスタートは木牟礼自治公民館から。今大会中に注目する木牟礼城跡周辺の地形の特徴について、講師の園屋武雄（そのやたけお）先生から説明をいただきました。

### ③探検の風景1（木牟礼城跡）



木牟礼城と島津氏について講師の園屋先生から説明をいただきました。島津氏発祥の地とされていて、貞久の時代には、南朝と北朝の争いが木牟礼城と尾崎城を舞台に行われました。

### ④探検の風景2（木牟礼城跡周辺の地形）



木牟礼城跡と周辺の地形の関係について説明がありました。木牟礼城などの山城は、元々あった自然の地形を活かして築城され、防衛力を付けていたことが、周辺を歩いてみて良く分かります。

### ⑤探検の風景3（南方神社）



南方神社として県内に初めて建立され（県内70社）、諏訪神社と祭神は同じとのことです。ここで15分程休憩しました。

### ⑥探検の風景4（田の神様、木牟礼城跡周辺の地形）



ゴールの木牟礼公民館付近にある田の神様に、参加者は興味を持たれていた様子でした。また、この地形は入江のような形をしており、昔は船での交通・輸送に使われていた場所なのではないかとの説明がありました。

## 5 参加者の感想

- 昔の海岸線等を想像しながら歩きました。南方神社も創建が古くおもむきのある神社で非常に興味深かったです。判りやすい説明で非常に良かったです。
- 近くにありながら木牟礼城の存在意義や歴史的なことについて知らなかった。そういう意味でよい勉強になりました。
- 先生の説明が聞けて良かった。地元の話が史料にない話なのでおもしろい。
- ゆっくり歩くことで、ふだん気付かないことも目にすることができました。ありがとうございました。
- いつも3号線より見て通るが、はじめて歩いて見て、広いのにびっくり。
- 参加して大変良かった。いつも3号線から見上げて通りすぎるだけだった。地域の高低差や様子が歩くことにより体感できた。木牟礼城跡の階段はきついので手すりがあれば助かると思った。次回もぜひ参加したい。
- 歴史の勉強兼ウォーキングで、大変良い企画です。できたら、希望者には事前に資料配布してもらえれば、もっと良く、(予習もできて)理解しやすくなると思います。
- 大変参考になりました。出発前に探検のポイント(地形・高低差・遺構など)説明があればさらに注意して見れると思います。ありがとうございました。
- 舗装道路が多く‘探検隊’としては…(史跡めぐり歩こう会でもよいのかと)‘土のいかも?’な場所は興味深いです。木牟礼城はまだまだ不思議がいっぱいです。
- 木牟礼城周辺はまだ分からないことが多い。文献がないこと、そしてもっと早く少なくとも明治生まれの人がいるうちに、この地に伝わる話など(伝承)を聞くと少しは分かったかとも思います。
- 今回は今までとは違い特に想像力を働かせることが多くいろいろな事を思いながらの活動でした。地元の方が暮らしていたときのことなどをまじえて話をされるのは。とてもおもしろく、良かったと思います。もう少しすずしい時期がよかったです。何かないかと(お宝?)思ってもどういふものを探す(目標とする)のが良いかわからないので、座学で、実際に出たものなどを学ぶのも良いのではないのでしょうか。特に石など、まったくただの石ころにしか見えないので、探検できない場所等の勉強と一緒にあればいいのかと思います。
- 木牟礼城廻りの埋立てや堀の深さ等びっくりしました。昔は海が入り組んでいたなど高低差など地域ですね。
- いつも3号線から見るだけで、初めて木牟礼城を探検した。新しい発見や知識があり、大変勉強になりました。海だった当時の地形図、想像図があればと思いました。今後は、探検とともに、若干の発掘調査もあればいいなと思いました。ありがとうございました。いい企画なので、年に3~4回あれば参加したいです。
- 日本の時代時代のその遺跡、遺構とのつながりを特に知りたい。史跡思っていたより広範であった。参考になりました。

※この他にもたくさんの御感想や御意見をいただきました。

ありがとうございました。



## 6 まとめ

大会当日は晴天での開催となりました。探検会場の木牟礼城跡周辺は、前日までの雨の影響が心配されましたが、歩行などに特に問題は無く、会はスムーズに進行できました。

探検会には市内及び近辺からの参加が多く、また、史跡への関心が高い方が多いことを感じました。

例年、参加者にナタ、カマなどの道具を使って、歩行に邪魔な雑草や枝を取り払いながら進み入り、山城跡を探検風に歩いてもらう企画なのですが、今回の木牟礼城跡周辺は、そのような場所がないため、周辺を歩いて、遺跡や山城跡周辺の地形を体感してもらう大会になりました。

山城跡周辺の地形の特徴についての説明を文化財課の担当職員が行い、木牟礼城跡周辺の道路や地形の移り変わりや、木牟礼城と島津氏との関係などについて、出水市文化財保護審議会委員のそのやたけお園屋武雄さんに分かりやすくお話をさせていただきました。

このように、木牟礼城跡の探検会は「足で歩き、目で見て、耳で聞く」と、郷土の歴史をまさに体感するというような探検会になりました。

---

今回は野田町上名の市指定史跡「かみみやまじょうほんじょうあと亀井山城本城跡」を含む、亀井山城跡で開催予定です。



亀井山城跡の航空写真